

由布市と国立大学法人大分大学との相互協力協定書

由布市と国立大学法人大分大学とは、相互の発展をめざして幅広い分野で協力するために、ここに協定を締結する。

1. 両者は次の事項について協力する。

- 1) 教育・文化・生涯学習及び人材育成における諸課題
- 2) 生活環境の整備・市民の安全安心の諸課題
- 3) 医療・保健・福祉・少子高齢化の諸課題
- 4) 産業振興等、産学官の連携による地域振興における諸課題
- 5) 情報化社会の構築における諸課題
- 6) NPOと行政との地域連携の構築と行財政の効率化の諸課題
- 7) 交流人口と定住人口の適正化の諸課題
- 8) 循環社会と循環経済の諸課題
- 9) その他必要と認められる行政施策立案に関する諸課題

2. 協力の形式及び協力による成果の利用方法等については、各々の課題に応じて両者間で協議する。なお、この協力協定が効果あるものとなるよう、定期的に協議の場を持って推進を図る。

3. 本協定は両者の代表が署名した日に発効し、以後3年間有効とする。ただし、両者のいずれからも異議申し立てがない場合は、3年毎に自動的に更新されるものとする。

4. 本協定書は2通作成し、各自1通保持し、いずれも正文とする。

平成18年2月28日

由布市長

国立大学法人 大分大学長